

【目指す児童像】

やさしい子  
元気な子  
よく学ぶ子



ホームページ

はち まん

# 八幡の森

学校だより 第8号

令和5年9月20日

宇都宮市立昭和小学校

発行責任者 宮澤文洋

## いじめゼロ強調月間実施中

9月は、5月に続いて2回目のいじめゼロ強調月間です。9月1日(金)には、朝の時間を活用して、いじめゼロのテレビ朝会を実施しました。いじめ発生の瞬間となる自分の正当化(シンキングエラー)の話、「やさしさ貯金箱」実施の話、そして児童指導主任からは、目に見えない「心の傷」の話をしました。シンキングエラー動画(文部科学省/mextchannel)は、本校のページにリンクが貼ってあることを伝えたところ、何人かの児童は早速休み時間にアクセスしてくれたようです。ただ、児童端末からは動画が見られないようでしたので、御家庭のPC等から、御家族で御覧いただけるとありがたいです。

「やさしさ貯金箱」は、「118」のやさしさ貯金となりました。このプロジェクトは、周囲のやさしさに気付くことで、お互いがやさしい心をもって相手を思いやることにつなげ、最終的にいじめのない環境を作っていくことが目的です。昨年度に比べて、子供たちの「ありがとうの気付きの範囲」が少しずつ広がりをを見せてきています。やさしさを感じる心が育ってきていることを感じます。以下に投稿内容の一部を紹介します。

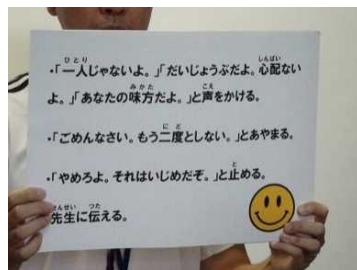
- お水をこぼしたときにふいてくれてありがとう。
- いっしょにシーソーであそんでくれてありがとう。
- 水道をゆずってくれてありがとう。
- 休み時間にさそってくれてありがとう。
- ほけんしつにつれていってくれてありがとう。だいじょうぶだったよ。
- 泣いていたときにだいじょうぶって言うてくれてありがとう。
- いつも大きな声であいさつをしてくれて、ありがとうございます。
- あいさつをかえしてくれてありがとう。
- 授業で分からなかったときに教えてくれてありがとう。
- わたしたちのことをかんがえてくれてありがとう。
- いつもおしゃべりしてくれてありがとう!(övö.)
- いつも大好きな給食を作ってくれてありがとう。
- 相談にのってくれて、ありがとうございました。
- いつも朝一番に挨拶をして、教室を明るくしてくれてありがとう。
- 長く休んだ時に「だいじょうぶ?」って言うてくれてありがとう!
- 習字の時、服についた墨をとってくれてありがとうございます。
- やさしくしてくれたり、元気づけてくれたりしてありがとう。
- たくさんほめてくれてうれしかったです。ありがとうございます。
- 放課後、遊びに誘ってくれてありがとう。
- 水筒を拾ってくれてありがとう。
- 係の仕事を手伝ってくれてありがとう。
- 筆箱を拾ってくれてありがとう。
- いつも美味しいご飯をありがとう。
- お仕事頑張ってくれてありがとう。

今月も保護者並びに地域の皆様には、変わらぬ御支援・御協力をいただきますようお願いいたします。

いつでも自分が正しい  
自分はぜったいに悪くないと  
考えるのは  
「シンキングエラー」



おおさか先生



## 夢工房開催

9月6日（水）、第2回昭和小学校地域協議会「夢工房」を開催しましたので、保護者及び地域の皆様に報告いたします。会議内容は、今年度の学校評価、夢工房各部からこれまでの活動報告、学校経営の進捗報告、教育に関する国の動きなどです。また、9月4日の大雨による児童引き渡しと避難所開設の話題にも触れました。その後、各学級を参観いただき、ランチルームにて給食試食会を実施しました。閉会後はロング昼休みの縦割り班活動の様子をご覧いただきました。委員の皆様、長時間にわたって御参加いただき、ありがとうございました。



## 小中一貫教育施策「小中合同あいさつ運動」



9月7日（木）、小中一貫教育施策の一つである、小中合同あいさつ運動を実施しました。朝夕の気温が低くなってきましたが、それでも登校時刻頃は気温が上がります。そんな中、星が丘中学校の先輩と一緒に、さわやかな挨拶を届けました。やはり中学生がいると心強いです。～あいさつ1つで笑顔が2つ～



## 訓練は本番のつもりで 本番は訓練のつもりで

9月8日（金）、不審者対応の避難訓練を実施しました。避難訓練は、様々な想定で実施しています。そして、繰り返し実施しています。これは、人間は心の安定を図るため「自分は大丈夫」と思い込む、「正常性バイアス」が働くからです。避難訓練は命を守る学習です。さて、教室に訓練の放送が入りました。情報は1回で正しくキャッチしなければなりません。そうしなければ、誤って危険な避難方法を選んでしまうからです。今回も、子供たちは冷静に対応することができました。避難訓練のある日は、ぜひ御家庭でも「こんな時はどうする?」と話し合ってみてください。

さて、御指導及び御講評をいただいたのは、宇都宮中央警察署県庁前交番の鈴木謙司所長様、宇都宮中央警察署警察スクールサポーターの小原澤信寿様、スクールガードチーフの堺純一様の3名です。それぞれのお立場から、小学生に合わせた、貴重なお話をいただきました。今回も、教職員側の対応、児童の避難の仕方ともに、大切な訓練となりました。今回の訓練の形をベースとして、休み時間や下校後にも応用できるよう、繰り返し指導していきたいと思います。



## ストレートに褒める

「校長先生、じょうず。」校長室で折り紙（四葉のクローバー）を教わっていた時に、子供から褒めていただいた言葉です。私はついていくのが精一杯でしたが、その子は私を待っていてくれて、そして褒めてくれたのです。ストレートな言葉だからこそ、ぐっときてしまいました。（褒めてくれてありがとう。あなたの教え方が上手だからです。）

もう一つ。夏休み明け集会での校長講話。いつもは「しゃべります！」と宣言して長めに話すのですが、今回は休み明けなので、配慮して宣言せず短めに。集会後、教室を回っているとある子から声をかけられました。「校長先生！今日はお話が短かったですね。」（多分、私の配慮を褒めてもらったのですよね？）